
開講科目名：中小企業論研究 (B) (2単位)

開設年次：1年

開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻

担当者：野松 敏雄

《授業の概要》

1. 授業の概要

【授業の目標】

日本の中小企業は身近な存在でありながら、その現状や課題そして役割について十分な理解を深める機会は残念ながらあまり多くありません。この講義では、日本の中小企業の現状・課題そして役割を学ぶことを目標としながら、日本経済の仕組みや課題も理解することも目指しています。

具体的には

◆知識・理解の領域

- ・日本の中小企業の現状・課題と役割を理解すること。
- ・さらに、日本経済にとって中小企業の果たす役割を理解すること。

◆技能の領域

- ・中小企業や日本経済に関する各種統計や資料を収集し分析できること。
- ・「開業計画書」を作成できること。

◆態度・志向性の領域

- ・中小企業の課題を解決するために必要な対策・施策を提案できること。

【授業の概要】

日本の中小企業は、規模は「小さい」が、日本の全企業数の約99.7%、全雇用者数の約65.2%、全付加価値額の約54.5%（以上、いずれも2014年）を占め、「日本経済の土台」と言っても過言ではありません。しかし、中小企業の倒産や休廃業・解散は依然として高い水準にあり、会社の引継ぎも大きな課題になっています。

こうした現状を分析し、その役割を十分に果たすために、今取り組むべき課題について学ぶことは、日本経済の新しい発展の道を模索することに関連し、皆さんの「働き方」を考えることにも繋がります。

なお、この講義は前期の「中小企業論研究 (A)」と関連しています。

【授業計画】

- 第1回 地場産業と地域経済
 - 第2回 「ふるさと納税」と地場産業
 - 第3回 中小企業の経営革新
 - 第4回 創業・開業と中小企業
 - 第5回 「開業計画書」と中小企業
 - 第6回 「開業計画書」の作成 (1)
 - 第7回 「開業計画書」の作成 (2)
 - 第8回 中小企業と後継者問題
 - 第9回 中小企業の事業承継
 - 第10回 中小企業の「事業承継計画書」の作成
 - 第11回 中小企業の組織化・共同化
 - 第12回 中小企業の「融合化」
 - 第13回 「6次産業化」と中小企業
 - 第14回 農商工連携と中小企業
 - 第15回 中小企業で「働く」ということ
- 授業を振り返って～これから中小企業とどう向きあうか？～

2. 評価方法

- ・小テスト 25%
- ・レポート 25%
- ・授業態度 50%

《テキスト》

渡辺幸男他『21世紀中小企業論（第3版）』有斐閣 2013年9月
その他、必要なテキストは適宜通知します。

《参考書》

中小企業庁編『中小企業白書（2018年版）』（2018年5月頃公表予定）
池田潔『現代中小企業の経営戦略と地域・社会との共生』2018年1月
その他、適宜紹介します。